

新型コロナウイルス感染者発生と対応について

2022年2月2日（水）、大宮センター（埼玉県さいたま市見沼区中川 145-129）に勤務する職員1名が、新型コロナウイルス陽性反応であることが判明しました。

パルシステム埼玉では組合員の皆様と事業所勤務者の安全を最優先に考え、当該センター内の消毒作業等、必要な対応を行いました。組合員の皆様と職員の安全が確保できると判断し、業務は通常通り行っております。

今後も引き続き、所轄保健所をはじめ、関係機関と連携を図りながら、安全確保と感染の拡大防止を最優先に必要な対応を進めてまいります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

1. 職員の行動履歴について

2月1日（火）まで当該センターで営業業務に従事していました。勤務中は、マスクの着用、アルコール消毒液で手指の消毒を適宜行っていました。

2月1日（火） 通常出勤。出勤時の検温と体調に異常なし。
営業業務より帰着後、夕方から鼻水の症状と喉の違和感が出る。

2月2日（水） 休日。発熱のため病院を受診し、検査を受検。
検査の結果、陽性と判明。

2. 当生協の対応について

- (1) 職員は毎日、出勤前および出勤時の検温と報告、マスクの着用、手指のアルコール消毒を適宜行い、記録をしています。
- (2) 事務所にはパネルを設置し、飛沫感染防止対策を行っています。また、適宜、アルコールによる机等の消毒と、窓を開放しての換気を行っています。

2022年2月2日
生活協同組合パルシステム埼玉